阿南市合併20周年記念事業

阿南市こども議会

阿南市合併20周年を記念して、8月20日、中学生による「阿南市こども議会」を市議会議場で開催しました。

市内各中学校の代表18人がこども議員となり、さまざまなテーマに関して質問し、市長や教育長および担当部長が答弁を行いました。

こども議員の皆さんからは、身近な学校生活についての質問から防災・減災や観光振興への取組、高齢者が住みやすいまちづくりについての提案まで、多岐にわたる質問、提言をいただきました。

市として、今後の施策に積極的に生かしていきます。

この議会をきっかけに、こども議員の皆さんには、より一層、学校や地域、社会でご活躍されますことを期待しています。

問い合わせ　企画政策課　☎22－3429

質問・答弁内容等、詳細については、市ホームページでご覧いただけます。

質問・答弁ダイジェスト（要約）

3班　加茂谷中学校

（左から）
3年 町田 晋太郎さん
3年 澤田 彩音さん

・「ラーケーション」の導入について
・阿南市の特色ある学習の取組について

（町田 議員） 徳島県では、後藤田知事が「ラーケーション」制度の導入を発表しましたが、阿南市でも導入する予定はありますか。

（岩佐 市長） 「ラーケーションの日」制度の導入は、学校ではできない体験や探究の学び、活動等を自ら企画し実行することで、家族で過ごす時間を増やしたり、校外での自主的な学びや活動の機会を創出したりできるメリットがあるものと考えております。本市においても、教育委員会と認識を共有し、「ラーケーションの日」制度の早期導入に向けて、より一層前向きに検討する必要があると考えています。

（澤田 議員） いろいろな学校のたくさんの中学生と関わるために、学校間の移動がしやすいよう、市内の学校が利用できるスクールバスを導入して欲しいです。

（坂本 教育長） 提案のあった他の地域の中学生との交流を活発にするためのスクールバスの活用については、この春から阿南第二中学校に導入したスクールバスを学校間の交流にも活用できないか、具体的な取組を始めていきたいと考えています。

2班　阿南第一中学校

（左から）
3年 入口 颯太さん
3年 金谷 太雅さん

・学校給食について
・豊かな自然を生かした観光 PR について

（金谷 議員） 阿南市の中学校３年生の給食費無償化はどのような財源により実現するのでしょうか。市民・県民に新たな負担が生じることはないのでしょうか。

（岩佐 市長） 中学校３年生の給食費無償化の財源については、本市が従来から市単独事業で行っている「保育所無償化施策」のうち、０～２歳児分について、本年９月から県事業として新たに支援が行われるため、その県支出金相当分、年間約 5,000 万円を財源として活用することで市としての新たな負担は発生しません。

（入口 議員） 阿南市の豊かな自然や観光資源の PR 活動には SNS を活用し、芸能人など、影響力を持つ人に発信してもらうことで、より効果的な PR につながると考えます。

（中橋 産業部長） 本市出身で、スポーツや芸能などさまざまな分野で活躍する武知実波さん（桑野町出身で県内初の女性プロサーファー）をはじめ６人の方々を「阿南ふるさと大使」として委嘱し、市の PR 活動を担っていただいております。今後もこうした方々とも連携し、本市の魅力を発信してまいります。

1班　阿南中学校

（左から）
3年 岡澤 花琉さん
3年 二階 優花さん

・阿南市の観光 PR について
・学校生活について（校則など）

（岡澤 議員） 阿南市の観光をもっと多くの人に知ってもらうために、どのような取組をしていく予定ですか。

（岩佐 市長） 若杉山辰砂採掘遺跡から出土した「辰砂」が展示されている大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、私も万博来場者に対し阿南市の魅力を PR するとともに、市ホームページやフェイスブックでも発信を行っています。また、「みなみ阿波観光局」では、県南部地域の魅力発信に取り組んでいます。

（二階 議員） 校則や学校生活について、生徒の意見をもっと取り入れるような取組を市としてどう支えていこうと考えていますか。

（岩佐 市長） 校則の見直しを含め生徒が主体的に参画する学校づくりの推進を、私と教育委員会が市の教育のあり方について議論する阿南市総合教育会議での議題に取り上げます。その場において、阿南中学校での取組を１つのモデルとして提示し、学校づくりに生徒の意見を取り入れる方法について議論します。そして、その方法が各学校で具現化されるよう市として支援していきます。

6班　新野中学校

（左から）
3年 岩崎 美羽さん
3年 尺長 紗和子さん

・高齢者の生活について
・学校生活について

（尺長 議員） 「昔遊び教室」や「スマホ相談会」など、中学生と高齢者の方々が交流できる場をつくれば良いと思います。

（岩佐 市長） 本市では、高齢者の居場所となる「通いの場」を「あななんサロン」として、住民の皆さんが主体となって活動しています。この「あななんサロン」において、「昔遊び教室」や「スマホ相談会」など、高齢者と若者との世代間交流が実現できれば互いに学び合える機会となり、大変有意義であると考えます。

（岩崎 議員） 休み時間に本を読んだり静かに過ごしたりできる特別な空間として、「穏やかルーム」の設置を提案します。

（坂本 教育長） 休み時間を１人で静かに過ごしたい人や周りの雑音にストレスを感じる人にとって、「穏やかルーム」の設置は効果的な解決方法の一つだと考えます。設置には、教員の考えだけでなく、生徒の意見やアイデアが必要です。皆さんの活発な議論を通して「穏やかルーム」の設置を実現し、他校のモデルケースとなることを期待しています。

5班　福井中学校

（左から）
3年 中川 陽葵さん
3年 宮崎 媛歌さん

・防災対策について
・人権教育について

（中川 議員） 市の中心地から離れた地域が被災した場合、復興までに教育や医療を受けたり、生活する方への支援や補助はありますか。

（岩佐 市長） 各教育機関では、発災後できる限り早い時期に、地元の学校等で授業を再開できるよう努めています。建物損壊などにより、地元の学校に通えない場合は、学校間で連携し、スムーズに避難先の学校で受け入れできる体制づくりを進めています。また、医療救護所を市内14 地区に設置し、避難所生活においても継続した医療が受けられる支援を行います。

（宮崎 議員） 通学バスや通学車で被災した場合の避難地点の確認、通学車やバスの防災備品・備蓄の用意、地域との防災訓練の計画などはありますか。

（坂本 教育長） 「スクールバス運行管理マニュアル」を整備し、教育委員会、学校、運行会社が共有し、緊急時に備え万全の体制をとっています。マニュアルには、通学バスで被災した場合の避難場所や連絡体制も記載しています。秋には、マニュアルに基づく避難訓練を実施します。

4班　阿南第二中学校

（左から）
3年 芳川 心春さん
3年 吉原 莉乃さん

・20 年度の阿南市について（少子高齢化）
・防災対策について

（芳川 議員） 20 年後の阿南市を考え、地元阿南を盛り上げ、帰る場所、帰ってきたくなる場所をつくる取組を進めてほしい。

（岩佐 市長） 阿南駅周辺では、市民会館跡地に新しい図書館の建設を進めています。図書館機能だけでなく、多様なニーズに応じることができる施設として今年度から設計に着手しており、早期完成をめざしています。完成すれば、若者を含むさまざまな世代が交流し、にぎわいを生み出す拠点としたいと考えています。

（吉原 議員） 学校行事で防災体験活動をする際、レクチャーしてくれる方を派遣してほしい。中学生でもリーダーとなり、避難場所での役割を担う存在になるための援助をしてほしい。

（川端 危機管理部長） 防災体験活動において要望があれば、「防災減災・危機管理アドバイザー」（徳島大学大学院准教授の金井純子さん・防災士の青木正繁さん）や「本市職員」を派遣します。また、防災士資格取得に年齢制限はありませんので中学生の皆さんも「徳島県防災士養成研修」を受講してほしいと思います。

9班　富岡東中学校

（左から）
3年 西　栞那さん
3年 西谷 咲良さん

・こどもが楽しく本を読める図書館作りについて
・街灯を増やす（通学路の安全確保）について

（西谷 議員） 図書館には、こどもが騒いでいても迷惑にならない防音スペースや、表紙の見える本棚の設置を提案します。また、建物の周りを、こどもが安心して遊べる空間にすることで、図書館は親子で楽しめる空間となり、阿南市の活性化に役立つはずです。

（岩佐 市長） 絵本エリアには、こどもが声を出し、家族でおはなししながら過ごせる防音対策のとれたスペースを設け、新図書館の前には、安全に遊べる緑の起伏広場、室内には遊具のあるキッズコーナーを計画しています。新図書館が全ての市民にとって楽しい場所となり、阿南市で子育てしたいと思えるような「こどもが楽しめる図書館づくり」に取り組んでまいります。

（西 議員） 阿南市により多くの街灯の設置を提案します。街灯の設置は安全性を向上させるとともに、防犯の面でも役立ちます。

（山下 市民部長） 防犯灯の設置については、地域の皆さんが中心となり必要性を検討します。その後、今あるの防犯灯との位置関係や緊急性を考慮し、曲がり角や狭い道など危険な場所を優先して、年間30 カ所程度新たに設置しています。

8班　羽ノ浦中学校

（左から）
3年 遠藤 優斗さん
3年 野村 旺志郎さん

・スポーツ・部活動について

（遠藤 議員） より良い環境で練習するためにアグリあなんスタジアムのような素敵な球場や練習場を設置することを望みます。

（岩佐 市長） 徳島県議会令和７年６月定例会において、南部健康運動公園に、県からは、新たに大規模災害発生時に物資輸送の拠点などに活用する「オープンスペース」の整備を計画しているとの答弁をいただいています。本市としては、この「オープンスペース」を平時は硬式野球を含め、スポーツに供することのできる広場として活用できるよう、徳島県に対して働きかけてまいりたいと考えています。

（野村 議員） 夏場の体育館は、とても暑く、熱中症になるおそれがあります。みんなが安心して活動できるよう体育館にエアコンを設置してほしい。

（岩佐 市長） 体育館利用者の熱中症を防ぐためには、空調による温度管理を行い、猛暑日でも快適な環境を確保することが重要です。また、体育館は災害時には避難所としての役割を担う重要な施設です。私は公約にも「避難所となる体育館の空調整備」を掲げており、早期の実現に向けて取り組んでまいります。

7班　那賀川中学校

（左から）
3年 斎藤 つづりさん
3年 吉岡 陽菜乃さん

・こどもの遊び場所について
・阿南市の観光 PR について

（斎藤 議員） 公園の整備は、子育て世代の移住のきっかけになり、阿南市の人口増加にもつながるのではないでしょうか。今後、公園の増設、整備の予定はありますか。

（岩佐 市長） 比較的規模の大きい公園については、「公園施設長寿命化計画」を策定し、順次遊具の更新や修繕に取り組んでいます。その他の公園についても、毎年、遊具等の安全点検を実施しており、点検結果によっては、公園の利用頻度等を踏まえ、やむを得ず撤去を行う場合や使用中止措置をとった上で修繕等を行っています。また、現時点では、公園増設の計画はなく、今ある公園を適切に維持管理していくことに軸足を置いて取り組んでいます。

（吉岡 議員） 阿南市の観光 PR を今後どのように行う予定か教えてください。

（中橋 産業部長） ホームページや SNS の特長を生かした効果的な活用に加え、徳島県や那賀町、海部郡の３町とも連携し、体験型観光をはじめとする本市ならではのコンテンツの戦略的なプロモーション実施など、徳島南部地域が一丸となった情報発信にも力を入れていきたいと考えています。